

参加費
無料

「主権者教育」
は今

学校でどのように 政治を扱うべきか？

～ 日独対話から学ぶ、民主主義の未来～



選挙年齢18歳引下げから10年、

日時

2026年3月7日(土) 17:00-20:00

場所

ゲート・インスティトゥート東京
2階 図書館

(東京都港区赤坂7-5-56)

定員

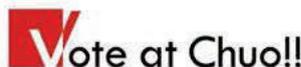
対面：50名(中・高生優先)
Zoom：定員なし(ハイブリット開催)

申込フォーム



主催

Vote at Chuo!! 白梅学園大学子ども学研究所
(中央大学主権者教育サークル)



日本とドイツは、それぞれ異なる歴史的背景のもと、シティズンシップ教育を発展させてきました。ドイツでは戦後、政治的中立性の原則を示した「ボイテルスバッハ・コンセンサス」の制定や、ナチス時代の反省から作られた、民主主義を守るための教育を促進する国家機関「連邦政治教育センター (bpb)」の設立など、国を挙げてシティズンシップ教育が推進されてきました。一方、日本では長らく、学校で政治的な話題を扱うことに慎重な姿勢が続いてきました。しかし、18歳選挙権の実現によってその重要性が再認識されるようになり、今年で10年の節目を迎えます。

けれど今、SNSによる社会の分断や政治的対立の深まりなど、民主主義は新たな危機に直面しています。本イベントでは、日独の経験を手がかりに、教師と高校生を交えた対話を通じて「民主主義を守るために、今どのような教育が必要か」をともに考えていきます。

後援

Friedrich
Ebert
Stiftung

GOETHE
INSTITUT

jdzb
Japanisch-Deutsches Zentrum Berlin
ドイツ国際センター
Japanisch-Deutsches Zentrum Berlin

パネリスト



ヨーロッパ統合に向けた政治教育を行う機関の理事長です。ドイツ連邦政治教育センターの専属講師として、世界各国で民主主義に関する講演も行っています。

クリスティアン・ヨハン
ヨーロピアン・アカデミー・ベルリン
理事長

コメンテーター



ドイツ連邦政治教育センターの、メディア教育専門家としても活動しています。フェイクニュースや誤情報に関するオンライン教材も作成しました。

ゲルノート・ヴォルフラム
マクロメディア大学教授/
連邦政治教育センター特別顧問

司会



宇恵野珠美
Vote at Chuo!!/
中央大学法学部4年

講師



小玉重夫
白梅学園大学・白梅学園
短期大学 学長

モデレーター



堀本麻由子
東洋大学文学部教育学科
教授

パネリスト



合田哲雄
文部科学省
高等教育局長

パネリスト



大畑方人
自由学園中等部・高等部
教諭

パネリスト



甲斐由理
ドルトン東京学園高等部
3年

コメンテーター



川島亜紀子
白梅学園大学 准教授
子ども学研究所 所長

～登壇順に掲載～

タイムテーブル

17:00 オープニング

趣旨説明：

- ・宇恵野珠美 (Vote at Chuo!!/中央大学法学部4年)

基調講演：

- ・小玉重夫教授 (白梅学園大学・白梅学園短期大学学長)

17:25 パネルディスカッション

- ・堀本 麻由子教授 (東洋大学文学部教育学科)
- ・クリスティアン・ヨハン博士 (ヨーロピアン・アカデミー・ベルリン理事長)
- ・合田哲雄氏 (文部科学省 高等教育局長)
- ・大畑方人先生 (自由学園中等部・高等部教諭)
- ・甲斐由理氏 (ドルトン東京学園高等部3年)

18:05 休憩

(簡単なお菓子と飲み物をご用意します)

18:15 パネルディスカッション

19:10 質疑応答

19:40 クロージング

- ・ゲルノート・ヴォルフラム教授 (マクロメディア大学/連邦政治教育センター特別顧問)
- ・川島亜紀子准教授 (白梅学園大学・白梅学園短期大学子ども学研究所所長)

20:00 ネットワーキングセッション (自由参加)

問い合わせ先：白梅学園大学・白梅学園短期大学子ども学研究所

〒187-8570 東京都小平市小川町1-830

TEL 042-313-5990 公開講座 (直通) e-mail kouza@shiraume.ac.jp